

## 「お客さま本位の業務運営宣言」に基づくアクションプラン、 KPI の 2025 年度の状況について

株式会社じもとホールディングスの「お客さま本位の業務運営宣言」に基づくアクションプラン、KPI について、2025 年度の取組み状況や成果指標（KPI）を公表いたします。

### <アクションプラン>

項目	アクションプラン（取組み方針）
1. お客さまの最善の利益の追求	<p>当行は、高度の専門性と職業倫理を保持し、お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するよう努めます。</p> <p>また、お客さま本位の良質なサービスを提供し、お客さまの最善の利益を追求するため、以下の施策に取組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• お客さまのニーズにお応えするための多様な商品ラインナップの整備に努めます。</li> <li>• 本方針の定着のため、支店長会議や研修等を活用し、役職員の啓蒙に継続的に取り組んでおります。</li> <li>• お客さまへの良質なサービス提供のため、関連資格取得を推奨しております。</li> </ul>

#### 2025 年度取組み状況

- ① 預かり資産を専門に扱う本部職員である FA（ファイナンシャルアドバイザー）20 名を県内 7 拠点に配置し、高度の専門性と職業倫理のもと、各担当エリアの営業店と協力し、お客さまの最善の利益を追求するために活動しました。
- ② 2025 年度においては、投資信託および保険商品の商品ラインナップの見直しを実施し、フォローアップの強化などお客さま本位の良質なサービスの提供に努めました。
- ③ FA および営業店職員向けの研修を活用し、商品知識や提案力の向上、コンプライアンス意識の醸成を図るべく、役職員の啓蒙に継続的に取り組んでおります。
- ④ 行内の資格取得奨励に準じ、FP を含めた関連資格の取得を引き続き推奨しております。

項目	アクションプラン（取組み方針）
2. 利益相反の適切な管理	<p>当行は、お客さまの利益を不当に害するおそれのある取引について正確に把握し、お客さまの利益が不当に害されることのないよう「利益相反管理方針」を定め、これに基づき適切な管理に努めます。また、利益相反の可能性を判断するに当たっては、例えば当行運用部門が、資産の運用先に当行法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶなどといった場合の影響についても考慮いたします。</p>

#### 2025 年度取組み状況

- ① 利益相反については、利益相反管理方針に基づき、「利益相反取引管理票」を用いて、管理部署であるリスク統括部において適切に管理しております。また、利益相反が生じる可能性が高い取引については、特に留意して管理を行う必要があるため、研修等を通じた知識の習熟に努めました。

項目	アクションプラン（取組み方針）
3. 手数料等の明確化	お客さまに提供する商品・サービス等の名目を問わず、お客さまが負担する手数料やその他の費用等については、重要なお取引の判断材料の一つとして、お客さまにわかりやすく説明し、透明性の確保に努めます。
2025 年度取組み状況	
<p>① お客さまにご負担いただく手数料やその他費用等について、以下の資料等への記載に基づき、お客さまにわかりやすく説明し、透明性の確保に努めました。</p> <p>投資信託…投資信託ラインナップ、交付目論見書、募集・購入に係る確認書、重要情報シート等</p> <p>生命保険…パンフレット、契約締結前交付書面、重要情報シート等</p>	

項目	アクションプラン（取組み方針）
4. 重要な情報の分かりやすい提供	<p>当行は、金融商品・サービス（以下、「金融商品等」といいます。）のご提案にあたって重要な情報をお客さまに十分にご理解いただけるよう、わかりやすく丁寧に説明するとともに、以下の施策を通じて適切かつ十分な情報提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金融商品等の提案にあたっては、基本的な商品の仕組み、リスク及びリターン、取引条件その他お客さまの投資判断に重要な影響を及ぼす情報の提供に努めます。</li> <li>お客さまの金融商品の知識、投資経験、財産の状況及びお取引の目的等の情報を適切に把握し、お客さまのニーズ・ご意向を踏まえた最適な金融商品の情報提供に努めます。</li> <li>お客さまの金融知識や投資経験等を踏まえ、明確でわかりやすく誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供に努めます。</li> <li>お客さまの投資判断に重要な影響を及ぼす情報については、お客さまに特に注意していただけるよう丁寧な説明に努めます。</li> </ul>
2025 年度取組み状況	
<p>① 金融商品等の提案にあたっては、ライフプランガイドを用いてお客さまのニーズ喚起をしました。その上で、商品横断シートを用いてお客さまが金融商品を比較・理解できるように情報提供を行いました。</p> <p>② 商品提案前に「金融商品に関するヒアリングシート」に基づいて、お客さまのニーズやご意向をヒアリングし、お客さまの年齢や収入、投資経験、財産の状況等を把握し、適合性を確認した上で、ご意向に沿った金融商品の情報提供に努めました。</p>	

項目	アクションプラン（取組み方針）
5. お客さまにふさわしいサービスの提供	<p>当行は、お客さまの財産の状況、金融商品取引の経験、知識及びお取引の目的・ご意向等の情報を適切に把握し、以下の施策を通じてお客さまにふさわしい金融商品等の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• お客さまのご意向・ニーズを適切に把握したうえでお客さまのライフプランを踏まえた資産形成について検討し、これに基づいた金融商品等の提案に努めます。</li> <li>• 金融商品等の提案を行う際には、類似商品・サービスや代替商品・サービスの内容と比較することで、お客さまにとって最適な運用方法をご判断いただけるような説明に努めます。</li> <li>• 金融商品等をご購入いただいた後も運用状況や市場動向などの情報をお客さまに提供するなど、適切なアフターフォローの実施に努めます。</li> <li>• お客さまにとって投資対象としてふさわしい金融商品等であるかについて、当該商品におけるリスク・リターンや手数料等の基本的な仕組み、特性について十分に事前審査を行ったうえで提案を行います。</li> <li>• お客さまへ最適なご提案をするために必要な知識・スキル習得のため、職員向けに充実した教育・研修を実施します。また、お客さまに対しても金融や資産運用に関する知識の向上や市場動向の把握に役立つセミナー等の機会提供に努めます。</li> <li>• 金融商品の組成に携わる金融事業者と連携し、お客さまにふさわしい金融商品の選定に努めます。</li> </ul>

2025 年度取組み状況

- ① 商品提案前に「金融商品に関するヒアリングシート」を通じて得たお客さまの適合性を確認した上で、「金融商品勧誘・販売基準」に則り、年齢、運用可能期間、リスク許容度、投資経験等に応じた商品を提案しました。
- ② 商品横断シートを活用し、金融商品の比較を行うことで、お客さまのニーズに沿った提案をしました。銀行窓販以外の証券分野でのニーズがある場合はSBI マネープラザ（共同店舗）を紹介することにより、お客さまに最適な運用方法をご判断いただけるよう努めました。
- ③ 金融商品等を保有するお客さまに対し、フォローアップを徹底しており、運用状況や市場動向等の情報提供を行いました。また市場動向の急変時にも随時フォローアップを実施しました。
- ④ 外部機関主催の研修への参加や、WEB研修の実施により、職員の知識・スキルの向上を図りました。
- ⑤ お客さまの金融リテラシー向上のため、資産運用や相続等に関するセミナーを定期的で開催しました。（2025 年度セミナー実施回数 12 回、参加者 224 名）
- ⑥ お客さま本位の商品管理体制（プロダクトガバナンス：商品の企画・選定から販売後の検証まで一貫して管理する仕組み）の実効性を確保するため、金融事業者と情報連携を行い、セミナー等に参加したほか、そこで得られた知見を商品選定に活用しました。

項目	アクションプラン（取組み方針）
6. 職員に対する適切な動機づけの枠組み等	当行は、本方針への取組みを促進するように設計された報酬・業績評価体系、職員への研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制の整備に努めます。
2025年度取組み状況	
<p>① 2025年度の営業店業績評価においては、個別の収益獲得にとらわれずにお客さまのニーズに沿った商品提案を実施できる体制としました。</p> <p>② 職員の人事考課において、本原則に沿ったお客さま対応を行ったことや中長期的な視点での複合取引による貢献に対して加点しました。</p>	

※当行では、以下の金融商品等については販売・推奨を行っておりません。

- 複数の金融商品・サービスをパッケージとした商品
- 複雑またはリスクの高い商品
- 当行が組成に携わる金融商品

以 上

<KPI>

視点	KPI																	
1. 人材育成	研修の実施（2025年度）																	
	<p>お客さま本位の業務運営にかかる人材育成研修を7回実施しました。研修では、知識の向上にかかる内容のみならず、コンプライアンスやフォローアップ等、お客さまにふさわしい金融商品等の提供ができる人材を育成する内容で実施しました。</p> <p>&lt;実施研修内訳&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修内容</th> <th>開催回数</th> <th>参加者合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>預かり資産研修会</td> <td>4回</td> <td>297名</td> </tr> <tr> <td>新任預かり資産研修会</td> <td>1回</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>営業責任者研修</td> <td>1回</td> <td>47名</td> </tr> <tr> <td>内部管理責任者研修</td> <td>1回</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>オンライン研修</td> <td>随時</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	研修内容	開催回数	参加者合計	預かり資産研修会	4回	297名	新任預かり資産研修会	1回	16名	営業責任者研修	1回	47名	内部管理責任者研修	1回	50名	オンライン研修	随時
研修内容	開催回数	参加者合計																
預かり資産研修会	4回	297名																
新任預かり資産研修会	1回	16名																
営業責任者研修	1回	47名																
内部管理責任者研修	1回	50名																
オンライン研修	随時	—																
2. お取引状況	資産形成の支援実績																	
	○預かり資産残高 <span style="float: right;">（単位：百万円）</span>																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2024年3月末</th> <th>2025年3月末</th> <th>2026年3月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>預かり資産残高</td> <td>89,694</td> <td>92,575</td> <td>104,645</td> </tr> <tr> <td>うち投資信託</td> <td>13,830</td> <td>13,091</td> <td>15,066</td> </tr> <tr> <td>うち生命保険</td> <td>72,560</td> <td>75,640</td> <td>83,669</td> </tr> </tbody> </table>		2024年3月末	2025年3月末	2026年3月末	預かり資産残高	89,694	92,575	104,645	うち投資信託	13,830	13,091	15,066	うち生命保険	72,560	75,640	83,669	
		2024年3月末	2025年3月末	2026年3月末														
	預かり資産残高	89,694	92,575	104,645														
	うち投資信託	13,830	13,091	15,066														
	うち生命保険	72,560	75,640	83,669														
	○投資信託 <span style="float: right;">（単位：件）</span>																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累計契約数</td> <td>25,648</td> <td>28,735</td> <td>31,679</td> </tr> </tbody> </table>		2023年度	2024年度	2025年度	累計契約数	25,648	28,735	31,679									
		2023年度	2024年度	2025年度														
累計契約数	25,648	28,735	31,679															
○ONISA <span style="float: right;">（単位：件）</span>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累計契約数</td> <td>10,117</td> <td>10,743</td> <td>11,334</td> </tr> </tbody> </table>		2023年度	2024年度	2025年度	累計契約数	10,117	10,743	11,334										
	2023年度	2024年度	2025年度															
累計契約数	10,117	10,743	11,334															
○積立投資信託 <span style="float: right;">（単位：件）</span>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期中契約数</td> <td>2,483</td> <td>2,290</td> <td>2,137</td> </tr> </tbody> </table>		2023年度	2024年度	2025年度	期中契約数	2,483	2,290	2,137										
	2023年度	2024年度	2025年度															
期中契約数	2,483	2,290	2,137															
○生命保険 <span style="float: right;">（単位：件）</span>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期中契約数</td> <td>2,798</td> <td>2,856</td> <td>2,475</td> </tr> </tbody> </table>		2023年度	2024年度	2025年度	期中契約数	2,798	2,856	2,475										
	2023年度	2024年度	2025年度															
期中契約数	2,798	2,856	2,475															

以上

## 「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について

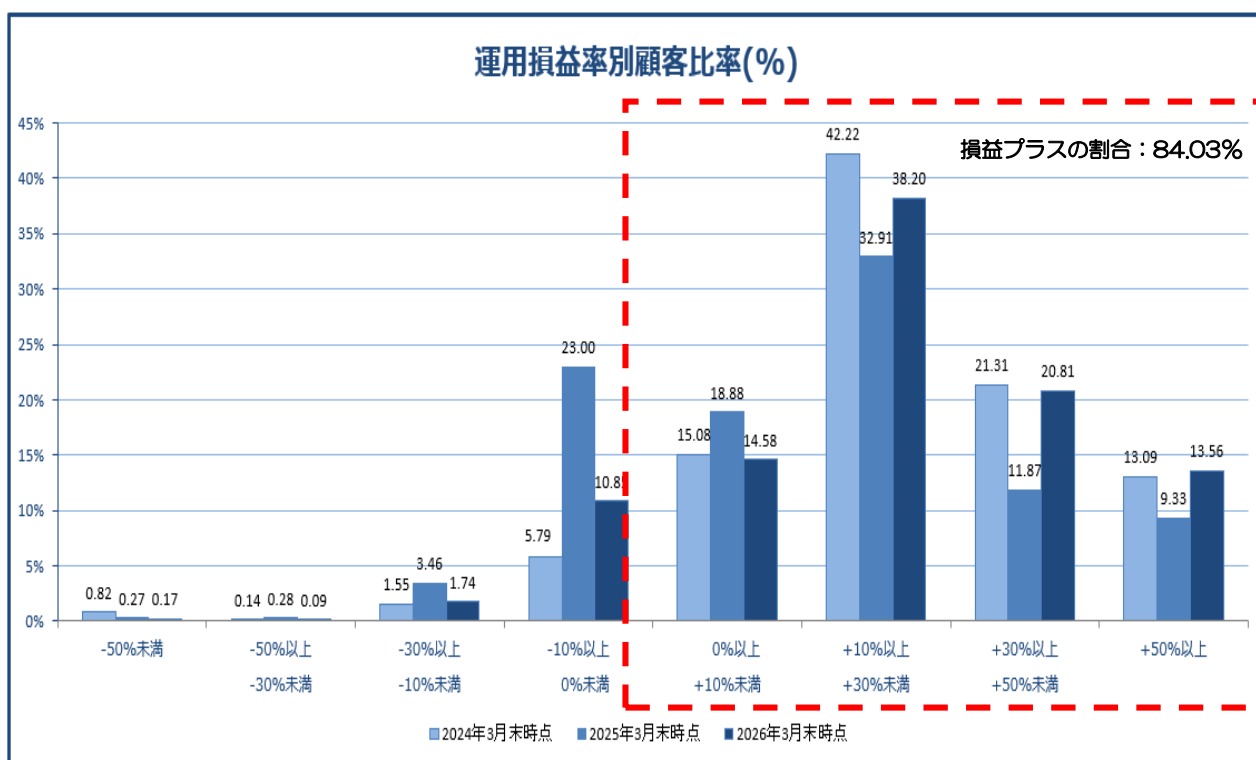
2018年6月に金融庁より公表された、「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」を公表しております。

当行は今後もお客さまに信頼される銀行として「お客さま本位の業務運営」を徹底してまいります。

### <比較可能な共通KPI>

#### 1.お客さまの運用損益率別の割合

- 当行で投資信託を保有するすべてのお客さまについて、基準日時点の累積の運用損益を算出し、運用損益率別の比率を示した指標です。
- 2026年3月末時点でプラスリターン（運用損益がプラスとなっている）のお客さまの割合は全体の84.03%と、2025年3月末比で11.02ポイント上昇しました。



※運用損益率は（評価金額＋累計受取分配金＋累計売付金額－累計買付金額）÷評価金額で算出しております。基準日時点で投資信託を保有している顧客を対象とします。

## 2. 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

●当行で取扱う投資信託の残高上位 20 銘柄について、銘柄毎及び預かり残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

●当行を通じて保有いただいている投資信託の残高上位20銘柄について、2026年3月末におけるコストに対するリターンは、20銘柄中19銘柄においてリターンがコストを上回っています（前年比±0銘柄）。

コスト…販売手数料率（取扱い時の最低販売金額での料率）×1/5+信託報酬率（実質的な信託報酬率の上限）

リスク…過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）

リターン…過去5年間のトータルリターン（年率換算）

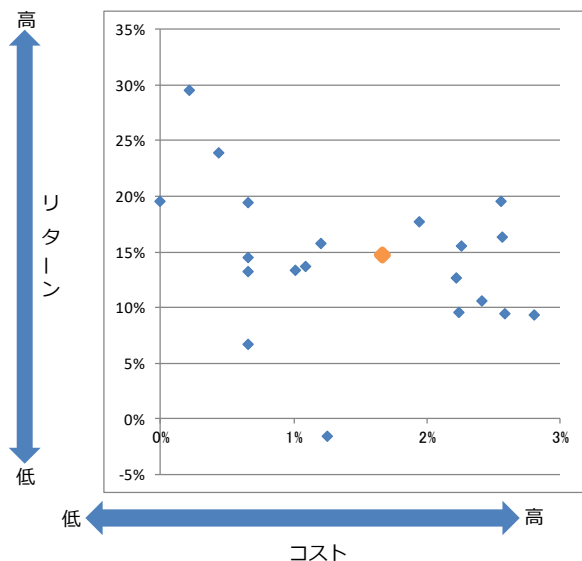
### 投資信託預かり残高上位20銘柄の一覧

2026年3月末時点

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	次世代米国代表株ファンド 分配金受取コース	2.26	16.85	15.49
2	グロバ・US-REIT・オープン(毎月決算型)為替ヘッジなし 分配金受取コース	2.22	16.77	12.69
3	東京海上・世界モノポリー戦略ファンド毎月決算型（受取型）	0.66	11.60	14.52
4	インデックスファンド225 分配金再投資コース	1.01	17.48	13.37
5	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド 受取コース	2.57	25.22	16.31
6	トヨタグループ株式ファンド 分配金再投資コース	1.09	22.75	13.66
7	ニッセイAI関連株式ファンド(為替ヘッジなし)分配金受取コース	2.56	25.54	19.54
8	Oneピュア・インド株式ファンド 分配金受取コース	2.81	17.19	9.37
9	日本好配当リバランスオープン（受取型）	0.66	11.88	19.44
10	ニッセイ米国高配当株ファンド(毎月決算型)分配金受取コース	1.94	13.48	17.69
11	アシア・ホニア好配当株ファンド(毎月決算型)分配金受取コース	2.41	15.01	10.61
12	FANG+インデックスオープン(受取型)	0.44	27.43	23.88
13	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド（資産ヘッジなし）	2.24	17.73	9.53
14	三菱UFJ 純金ファンド（受取型）	0.22	19.22	29.47
15	メディカル・サイエンス・ファンド（受取型）	0.66	16.45	13.17
16	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（受取型）	2.59	27.11	9.40
17	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド（受取型）	1.20	14.13	15.73
18	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型) 分配金受取コース	1.25	3.28	-1.54
19	ポーレン米国グローース株式ファンド 資産成長型（受取型）	0.66	19.50	6.66
20	iFree S&P500インデックス	0.00	15.73	19.50

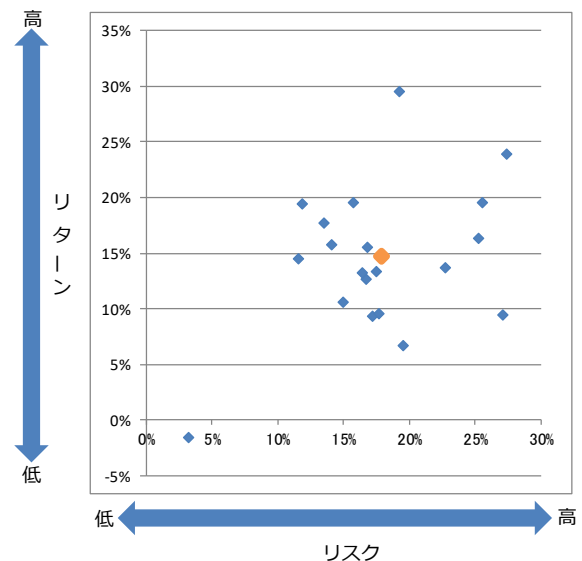
【2026年3月】

投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.66	14.68

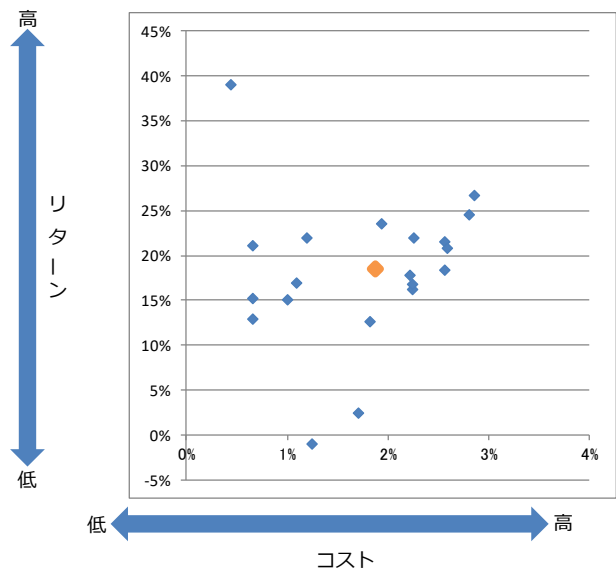
投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.88	14.68

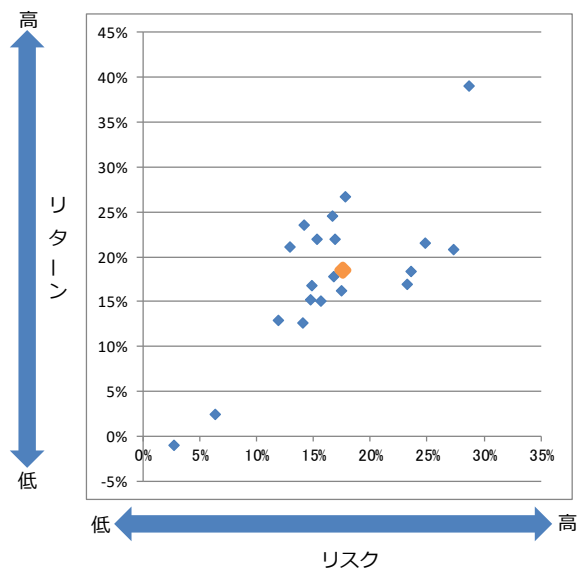
【2025年3月】（参考）

投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.87	18.48

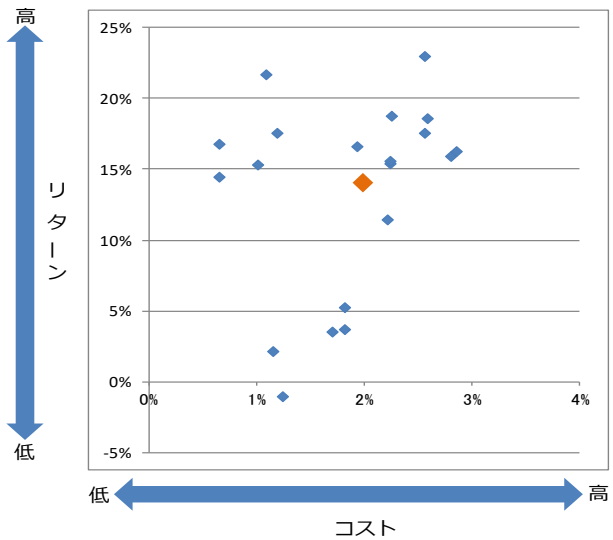
投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	17.57	18.48

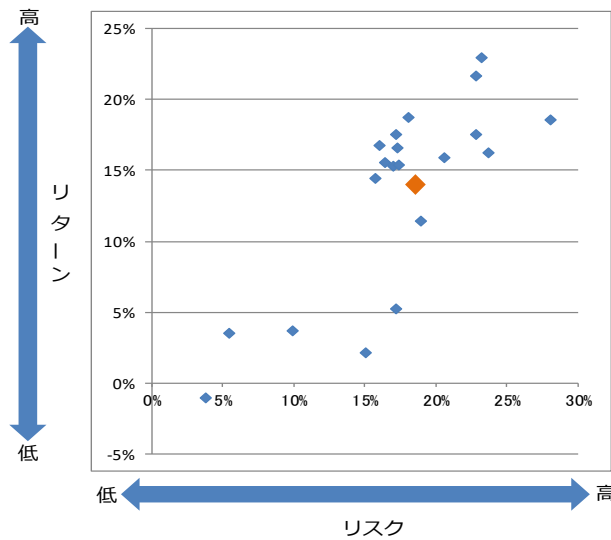
【2024年3月】（参考）

投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



◆ 残高加重平均値	コスト	リターン
	1.95	14.43

投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



◆ 残高加重平均値	リスク	リターン
	18.65	14.43

以上

## 「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI」について

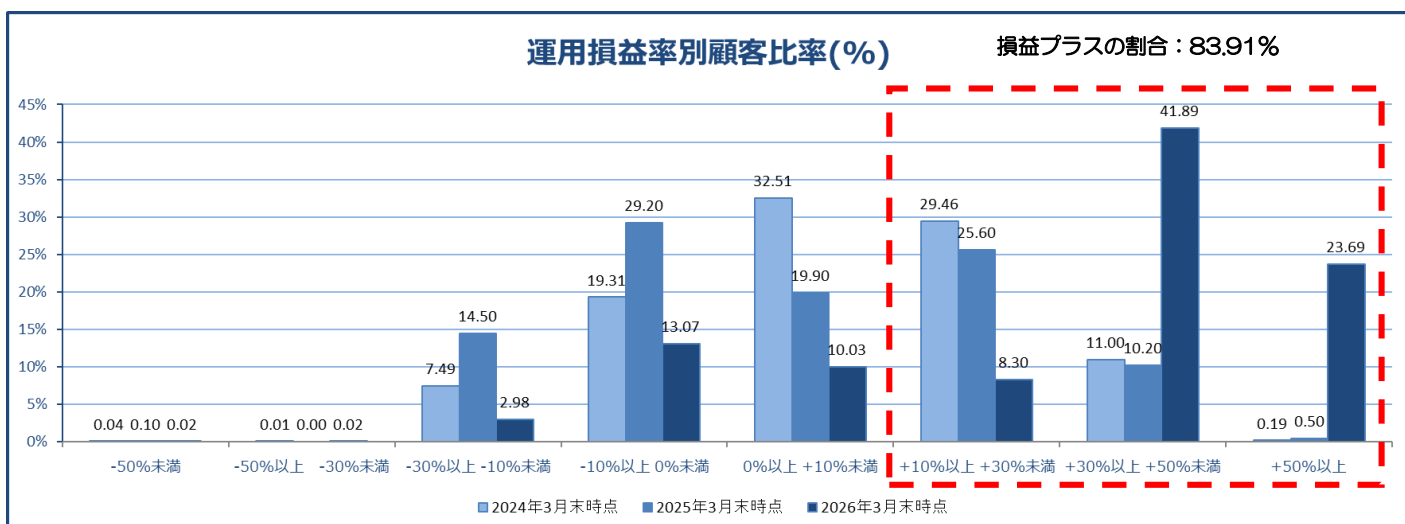
2022年1月に金融庁より公表された「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI」を公表しております。

当行は今後もお客さまに信頼される銀行として「お客さま本位の業務運営」を徹底してまいります。

### <比較可能な共通 KPI>

#### 1. お客さまの運用損益率別の割合

- 当行で外貨建保険を保有するすべてのお客さまの、購入時以降のリターンを算出し、リターン別の比率を示した指標です。
- 2026年3月末時点で外貨建保険を保有しているお客さまの運用損益率別比率では、83.91%のお客さまがプラス評価と、2025年3月末比で27.71ポイント上昇しました。
- 比較参考として投資信託の運用損益率別顧客比率を記載しておりますが、外貨建保険における保障機能がリターンに反映されていないため、リターンのみをもって単純に比較するには注意が必要です。



## 2. 外貨建保険各銘柄のコスト・リターン

●当行で取り扱う外貨建保険の各銘柄について、銘柄ごと及び加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

●当行を通じて保有いただいている外貨建保険の各銘柄について、2026年3月末におけるコストに対するリターンは、20銘柄中16銘柄においてリターンがコストを上回っています。（前年比▲3銘柄）

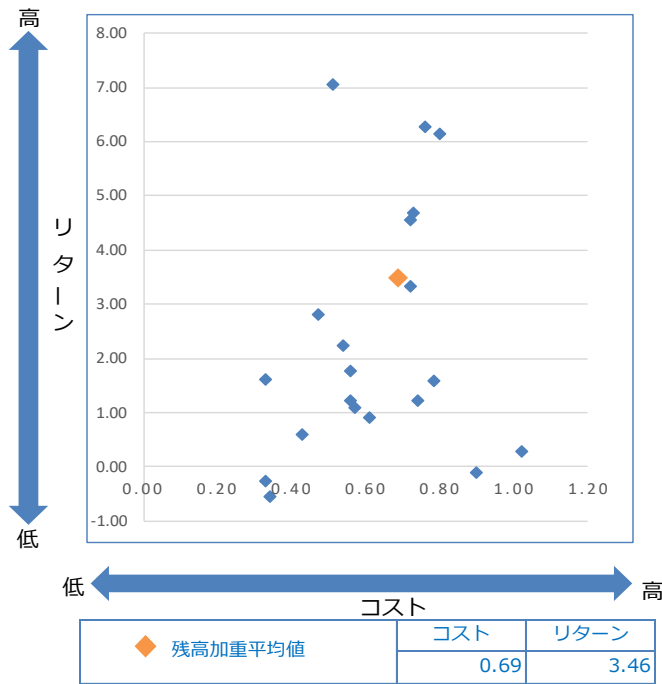
外貨建保険銘柄の一覧(件数順)

2026年3月末時点

No	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	0.72	4.56
2	サニーガーデン	0.47	2.83
3	生涯プレミアムワールド5	0.90	-0.09
4	しあわせ、ずっと	0.56	1.22
5	ロングドリームGOLD2	0.76	6.29
6	ロングドリームプラス	0.34	-0.55
7	やさしさ、つなぐ	0.56	1.77
8	ロングドリーム	0.33	-0.25
9	三大陸	0.33	1.61
10	おおきな、まごころ	0.74	1.22
11	ロングドリームGOLD3	0.80	6.16
12	生涯プレミアムワールド4	0.79	1.60
13	ビーウィズユープラス	1.02	0.30
14	ロングドリームGOLD	0.57	1.11
15	ビーウィズユー（豪ドル建）	0.54	2.26
16	ふるはーとJロードグローバル	0.72	3.35
17	しあわせ、ずっとNZ	0.61	0.92
18	ファイブテンW	0.43	0.60
19	あしたの、よろこび	0.73	4.70
20	外貨エブプラス米	0.51	7.08

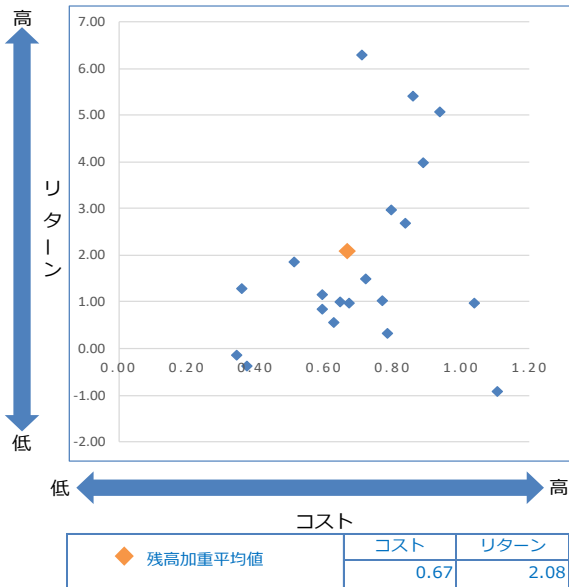
【2026年3月末】

外貨建て保険保有件数上位 20 銘柄のコスト・リターン



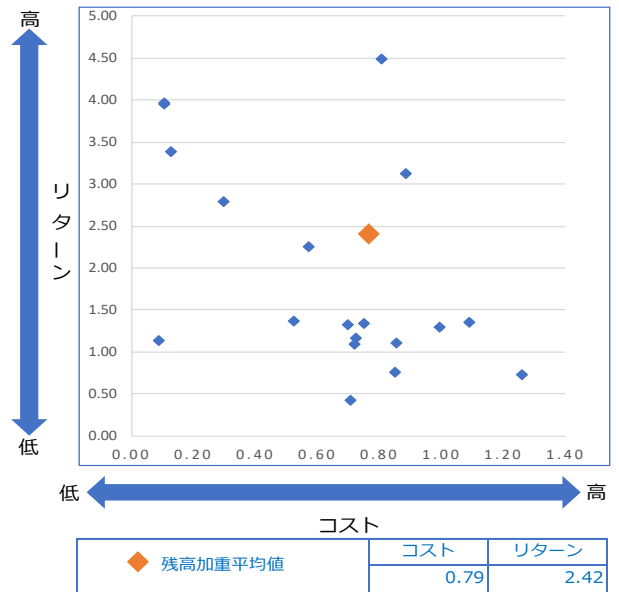
【2025年3月末】（参考）

外貨建て保険保有件数上位 20 銘柄のコスト・リターン



【2024年3月末】（参考）

外貨建て保険保有件数上位 20 銘柄のコスト・リターン



以上